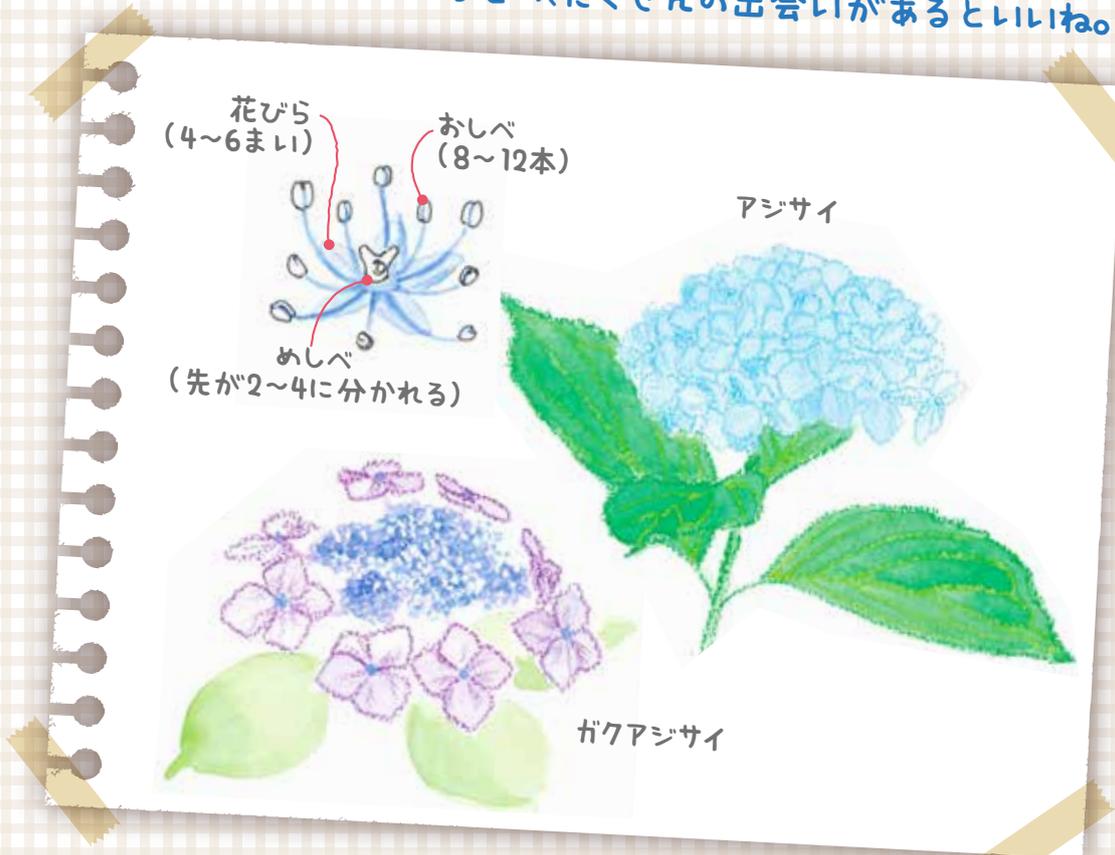


初夏

絵日記でいざなう 世田谷のみどり



アジサイの花が咲いたら、もうすぐ夏がやってくる。
街に生きる生きものたちとの、たくさんのお会いがあるといいね。



おとずれた場所と出会った生きもの

緑道や 道ばた

植物… アジサイ、ガクアジサイ、カタバミ、桜、ハナツクバネウツギ(アベリア)、ビワ、ムラサキオオツユクサ
動物… アジサイハバチ、キジバト、キバラルリクビボソハムシ、キマダラカメムシ、ギンメツキゴミグモ、コハナバチの仲間、シロオビアウフキ、ダンダラテントウ、ヤマトシジミ

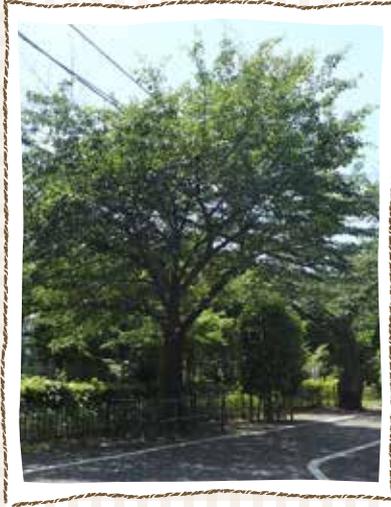
公園や 緑地

植物… クヌギ、セイヨウトチノキ、ドクダミ
動物… アカハバヒロオオキノコ、アズマヒキガエル、オオシオカラトンボ、キイロトラカミキリ、コクワガタ、コムスジ、サトキマダラヒカゲ、シマハナアブ、ショウリョウバッタ、トホシテントウ、ナナフシ(ナナフシモドキ)、ニホンカナヘビ、ハクセキレイ、ヒカゲチョウ、ヒガシニホントカゲ、ヒメアカタテハ、ヒメジャノメ、ヒラタアブ類、ベニシジミ、ムクドリ、モンシロチョウ

河川や 水辺

植物… エノキ、ヒメジョオン、ムラサキツメクサ、ヨモギ
動物… オオカマキリ、オオミノガ、カゲロウの仲間、サトキマダラヒカゲ、ショウリョウバッタ、ツユムシ、ナミテントウ

学校の校庭や近くの公園。毎日見ているのに、「春、夏、秋、冬」と様子が変わっていきます。どのように変わっていくのでしょうか。不思議な季節の変化に目を向け、その豊かさを感じてほしい。そんな思いでこの資料を作りました。いつもの暮らしの中で、ふっ…と感じる自然。それはあなただけの「発見」かもしれません。ぜひ探してみてください。



緑道の桜の木

春、たくさんの花を咲かせていた桜の木は、実が赤や黒紫に色づいていました。ムクドリやオナガが実を食べに来ていました。



サクラの実



サクラの葉

ほかの、花や実をつけている木を、さがしてみました。

ビワの実も色づき始めていました。手まりのように咲いているアジサイにも、小さな花があるのでしょうか？アジサイハバチの幼虫が葉にたくさん穴をあけていました。

ガクアジサイの小さな花に、小さなコハナバチの仲間が来て、後ろあしに花粉だんごをつけていました。



ビワの実



手まり咲きのアジサイ アジサイハバチの幼虫



ガクアジサイ



ガクアジサイの花



コハナバチの仲間



ハナツクバネウツギの花



枝にアワ

シロオビアワフキの幼虫



ダンダラテントウ



ギンメッキゴミグモ

ハナツクバネウツギ(アベリア)が花を咲かせていました。アワフキムシの幼虫や、ダンダラテントウがいました。



カタバミ

地面に近いところでは

キジバトの卵が落ちていました。野鳥たちの子育ても大変ですね。

カタバミが、まだ黄色い花を咲かせていました。ヤマトシジミが、あちこち飛び回り、ツツジの葉で休んでいました。カタバミのふくれた実にさわると、中からタネが飛び出してきました。ムラサキオオツユクサの花が咲き始めていました。



キジバトの卵



ヤマトシジミ



カタバミの実 飛び出すタネ



ムラサキオオツユクサ



キバラリクビボソハムシ



キマダラカメムシ

初夏の公園や緑地は、春のような彩(いろど)りはありませんが、緑が豊かになり生きものたちの元気な姿を見ることができます。



クヌギの木

クヌギの葉もしげり、葉の間にはどんぐりの赤ちゃんが出来ています。



クヌギの葉



どんぐりの赤ちゃん

? 他のどんぐりの出来る樹
コナラ、マテバシイなどは
どうなっているかな?

トチノキのように初夏になって
花を咲かせる樹もあります。



セイヨウトチノキの花

? 他にも初夏に花を咲かせる樹はあるかな?



林の中を観察しよう! 少しずつ暗くなった林の中でもいろいろな生きものと出会えます。

ジャノメチョウの仲間は幼虫がササなどのイネ科の植物を食べるので、森の中が大好きです。樹液が出ている樹があればこの時期でもコクワガタに出会えます。キノコや薪(まき)も観察のポイントです。



ヒメジャノメ



ヒカゲチョウ



サトキマダラヒカゲ



コクワガタ



アカバヒロオオキノコ



キイロトラカミキリ



林の縁(林縁)(ふち・りんえん)を観察しよう! たくさんの植物や昆虫(こんちゅう)などに会うことができます。

この季節、少しずつ暗い林縁には葉草として利用されるドクダミの花が咲いています。花の構造を調べてみよう!花びらはどれかな?

? トカゲとカナヘビもよく見かけます。
ちがいを調べてみよう!



ドクダミ



トホシテントウ



ナナフシ(ナナフシモドキ)



コムシジ



ヒガシニホントカゲ



ニホンカナヘビ



草地を観察しよう! 花が咲いたり草ぼうぼうの草地にはたくさんの生きものがすんでいます。

草地ではヒメジョオンやシロツメクサ(クローバー)が咲き、虫たちが蜜を吸いに集まっています。草地をよく見るとバッタの赤ちゃんもいます。



ヒラタアブ類



モンシロチョウ



ベニシジミ



ハクセキレイ



ムクドリ



ショウリョウバッタ



花壇は虫の宝庫!

花が咲き誇る花壇ではいろいろな昆虫が蜜を吸いに訪れます。



ヒメアカタテハ



シマハナアブ



池の生きものを観察しよう!

オタマジャクシの上陸ももうすぐです。トンボも縄張りを作っています。



オタマジャクシ
(アズマヒキガエルの子)



オオシカラトンボ

～ある日「わたしの木」のまわりで出会った生きものたちを紹介(しょうかい)します～



この木は多摩川の河原にあるエノキです。これが、今回の「わたしの木」です。

エノキの木に近づいてみると



エノキの実

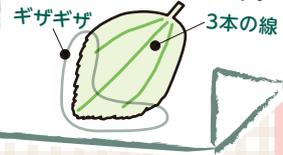


エノキの葉

まだ青いですが、もう実もついていました。秋には、何色になるだろう。

エノキの葉っぱの特徴(とくちょう)

葉の根本から3本の線が出て、葉の周りは、先端(せんたん)から半分くらいまでがギザギザになっています。



木の内側に入ってみると

枝のミノムシの下から蛹が半分出ています。ミノムシも成虫になると外に出てくるんですね。カゲロウの仲間は、幼虫は川で過ごし、多摩川に近い原っぱだから見られたのかもしれませんが。



オオオミノガ
下の黒い部分は蛹



カゲロウの仲間
幼虫は川ですごす

葉の上にチョウが。体が少しななめになっていました。(お休み中?) 模様のちがうテントウムシやその蛹(さなぎ)がたくさんいました。



サトキマダラヒカゲ



虫こぶ

葉っぱがチョンとふくらんでいました。これからどんな形になるか楽しみです。



ナミテントウ



ナミテントウ



ナミテントウ



ナミテントウの蛹



テントウムシの卵を食べるナミテントウの幼虫

テントウムシの幼虫がテントウムシの卵を食べていました。これにはおどろきました。

草の中をみてみると

草の上では、また別の模様のテントウムシがいました。このナミテントウの模様は、とてもたくさんあります。河原では、どれくらい見つけられるだろうか。楽しみが増えました。



ナミテントウ

木の下を見てみると

木の下は、ヒメジョオンやヨモギ、イネの仲間、ムラサキツメクサやシロツメクサの花などの草原です。花がたくさん咲いていました。



ヒメジョオン



ヨモギ

よもぎもち、つくれます



ムラサキツメクサ



オオカマキリ幼虫



ツユムシ幼虫



ショウリョウバッタ幼虫

草原の中には、カマキリやバッタの小さな幼虫がいました。秋にはどんなに大きくなっているのでしょうか。これからの成長が楽しみです。